



## 保護者ニーズ調査 親たちは学校に何を求めている！？

「つめ込み教育」の反省から、1996年の中央教育審議会の答申を受け、「ゆとり教育」という従来とは正反対の方向に進みつつある教育改革。昨年からは施行された新学習指導要領では、学習内容が3割削減され、保護者の間に学力低下の不安が広がった。知識の詰め込みよりも体験を重視して、生きる力をつけようと導入された総合学習では、何を教えていいかわからないと学校現場の混乱を招き、保護者からは「そんなことよりも基礎学力をきっちり身につけて欲しい」との批判を浴びる結果となってしまった。公立校では学力は身につかない、と塾や私立中学受験を目指す保護者は増える一方。しかし、多くの保護者は、まだ公立校に期待しているし、公立校で子ども達を教育したいのである。

保護者たちが学校や教師に、本当に望んでいるのは何なのか、未就学児童～小学生の子どもを持つ母親200人にその胸のうちの聞いてみた。

### <回答者の基本情報>

#### 居住地

	合計	北海道	東北	関東	信越	北陸	東海	近畿	中国	四国	九州
全体	200	4	6	111	1	1	20	36	10	3	8
	100%	2%	3%	56%	1%	1%	10%	18%	5%	2%	4%

#### 年齢層

	合計	20代	30代	40代
全体	200	5	149	46
	100%	3%	75%	23%

#### 男女比

	合計	女性	男性
全体	200	200	0
	100%	100%	0%

#### 子どもの年齢

	合計	未就学児	小学校1~3年	小学校4~6年
全体	200	5	149	46
	100%	3%	75%	23%

#### 子どもの所属

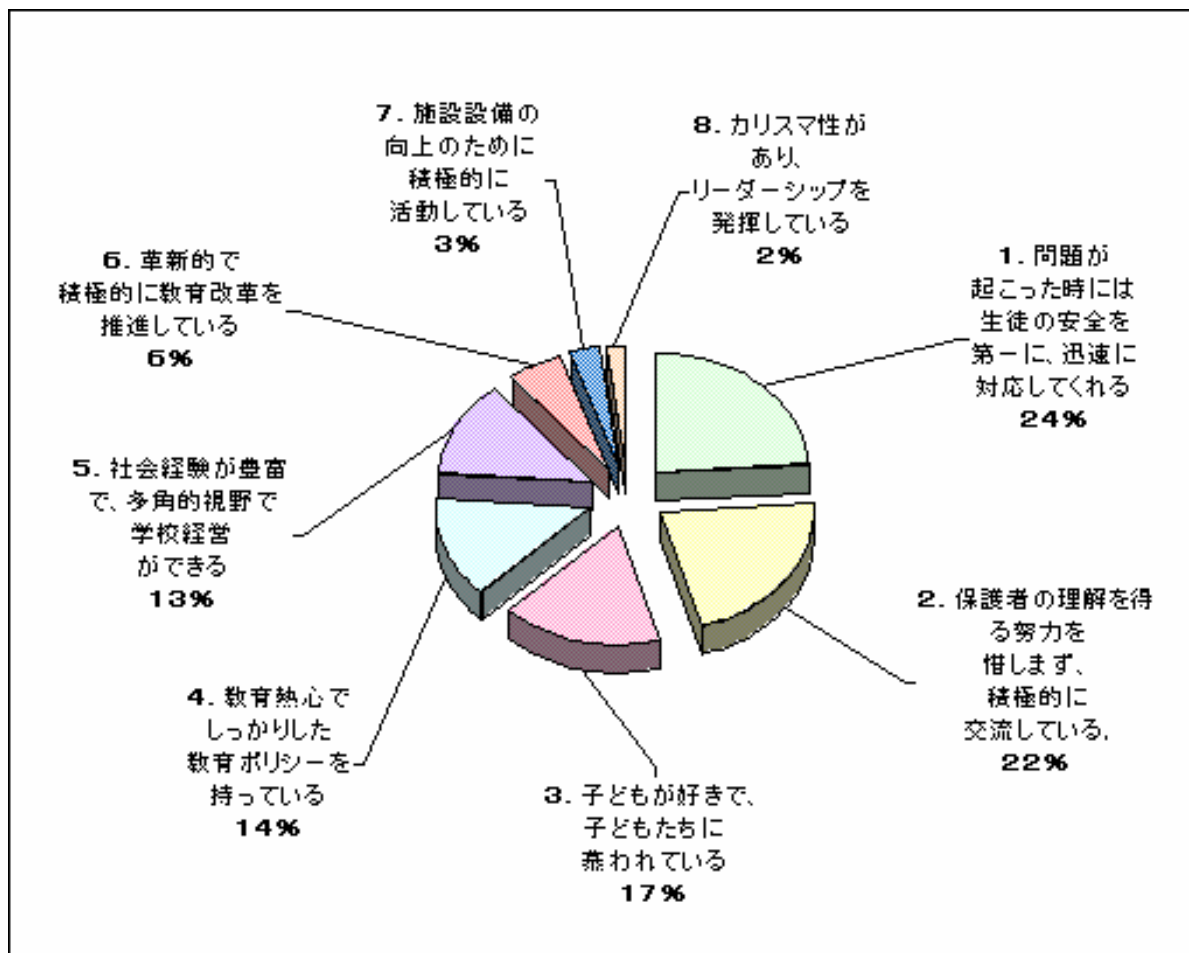
	合計	私立幼稚園	国公立幼稚園	保育園	国公立校	私立校
全体	200	65	10	20	155	0
	100%	33%	5%	10%	78%	0%

### <質問項目>

- Q1 あなたの理想とする小学校はどのようなものですか。
- Q2 あなたの理想とする教師像はどのようなものですか。
- Q3 あなたの理想とする校長(学校の責任者)像はどのようなものですか。**
- Q4 学校の放課後や土曜日に、授業以外のサービスを求めるとしたらそれはどのようなものですか。**
- Q5 私立校へ行かせたいと思いますか。
- Q5-1 私立校に行かせたい理由は何ですか。
- Q5-2 私立校に行かせたくない理由は何ですか。
- Q6 子どもたちの安全のために、学校にはどこまで対応して欲しいですか。
- Q7 学校の環境をよくするために何か協力するとしたら、どのくらい参加できますか。
- Q8 設備、教員、教育方針など、学校に関することで、「これはひどい」と思ったできごとをお書き下さい。
- Q9 その他、学校や教師に求めることをお書きください。



Q3 あなたの理想とする校長(学校の責任者)像はどのようなものですか。(3つ選択)



	合計	1	2	3	4	5	6	7	8
全体	600	143	129	101	83	80	35	17	12
	100%	24%	22%	17%	14%	13%	6%	3%	2%

理想の校長像について聞いたところ、問題が起こった時には、生徒の安全を第一に、迅速に対応してくれる」が24% (143名)で1位、次いで「保護者の理解を得る努力を惜しまず積極的に交流している」22% (129名)、子どもが好きで子どもに慕われている」17% (101名)と続く。

自由記入については、理想の教師像ほど多岐にわたる要望はなかった。保護者が望む校長像とは、「偉ぶらず」「子どもに慕われていて」「親しみやすく」「寛大」で、何かあったときには頼りになる「お父さんのような存在」のようである。また、民間人校長の採用など昨今の状況を受けてか、時代の波に柔軟に対応できる経営センスや、社会人経験を求める声も目立った。



子ども達に好かれており 子ども達にとって身近な存在。」

保護者に対し開かれた学校を作ってほしい。構えず、どんなことでも話し合いできる校長先生を望みます。」

校長としての自分の立場ばかり優先させず、まず、子どものことを第一に考えてくれる。問題が起こったときは、まず、自分から率先して、その解決策を見出そうとしてくれる。教育委員会のご機嫌ばかりがかわず、自分の学校の内情をよく理解し、その学校に適した教育方針で学校を引っ張っていただくだけの力をもっていること。」

独裁者ではなく、現場の先生方の話や意見にも耳を傾けてくれるような人。真剣に、子どもたちにとって何をしたらいいのかを考えてくれる人。フットワークの軽い人。」

「ときどき、いじめなどの問題に対して、学校側では一切そういうことは知らなかったというコメントを出す人がいるが、そうではなく、つねに学校の中を責任を持って監督できているような人がいい。校長先生と交流する機会はありませんが、そのような機会をなるべく作って、子どもたち一人ひとりのことを知っているような先生であって欲しい。」

問題がおこったときにはとても迅速とはいえないような対応だと思います。公立のためか、2年に一度校長が変わるといのは、そのたびに学校の運営方針が変わり、まわりが振り回されるだけだと思います。」

校長だからといって、えらそうに構えているのではなく、子どもと同じ目線で向き合ってくれる校長。例えば、子どもの名前をちゃんと覚えてくれる、朝、校門で旗振りをしてくれる、など子どもたちが信頼できる校長先生が理想。」

校長先生は普段、子どもたちと関わるのがあまりないと思います。だからこそ、子どもたちにとっては学校の中で一番偉い先生なのに、印象の薄い先生となっているような気がします。教育現場に校長先生と触れ合える機会を作っていただけるのが理想です。」

校長としての威厳は保ってほしいが、逆に近寄り難い存在ではなく生徒・保護者からみて、どの教師より話しやすい存在でなくてはならないと思います。」

「その学校の伝統を守りつつも常にアンテナを張り巡らし、良いことには積極的に目を向けて新しい風を取り入れてくれること。子ども・保護者・教師の意見を尊重し、確執や摩擦、わだかまりの無い学校にしてくれること。学校が進むべき方向性を常に認識し、先頭に立って歩こうとする勇気とバイタリテを發揮してくれること。」

「プライドを持っているのは立派な事かもしれませんが、保護者との間に壁を作らず、一緒に子どもを見守っていく、表向きだけではなく、本当の意味でPTAと協力して子ども達を教育していけるような校長先生がいたら学校も良くなり、安心して子どもを学校に通わせられます。」

教育界という狭い世界でしか知らない校長先生ではなく、社会経験も豊富で、親と価値観が一緒であればうれしいです。(校長になる前に、3年ほど社会体験をする制度があってもよいと思います)。」



教育熱心かどうかは別として、教育ポリシーが確固たるものであることが望ましいです。外部圧力によってフラフラ変えられるようであれば、安心して子どもを任せられません。」

生徒や教師、親たちの、お父さんみたいな存在で、どんなことにも相談に乗ってくれるような、偉大な人。」

教師や生徒の立場を理解してくださる方、学校外部からさまざまな圧力がかった場合に盾になってくれる先生が理想です。」

「とにかくワンマン経営はイヤです。とかく校長次第で学校の色が決まりがちですが、何でもかんでもワンマンに決めていくのは、どうかと思う。世間でもイジメ問題等が取り上げられても、隠そう隠そうとする。その姿勢が大嫌い！」

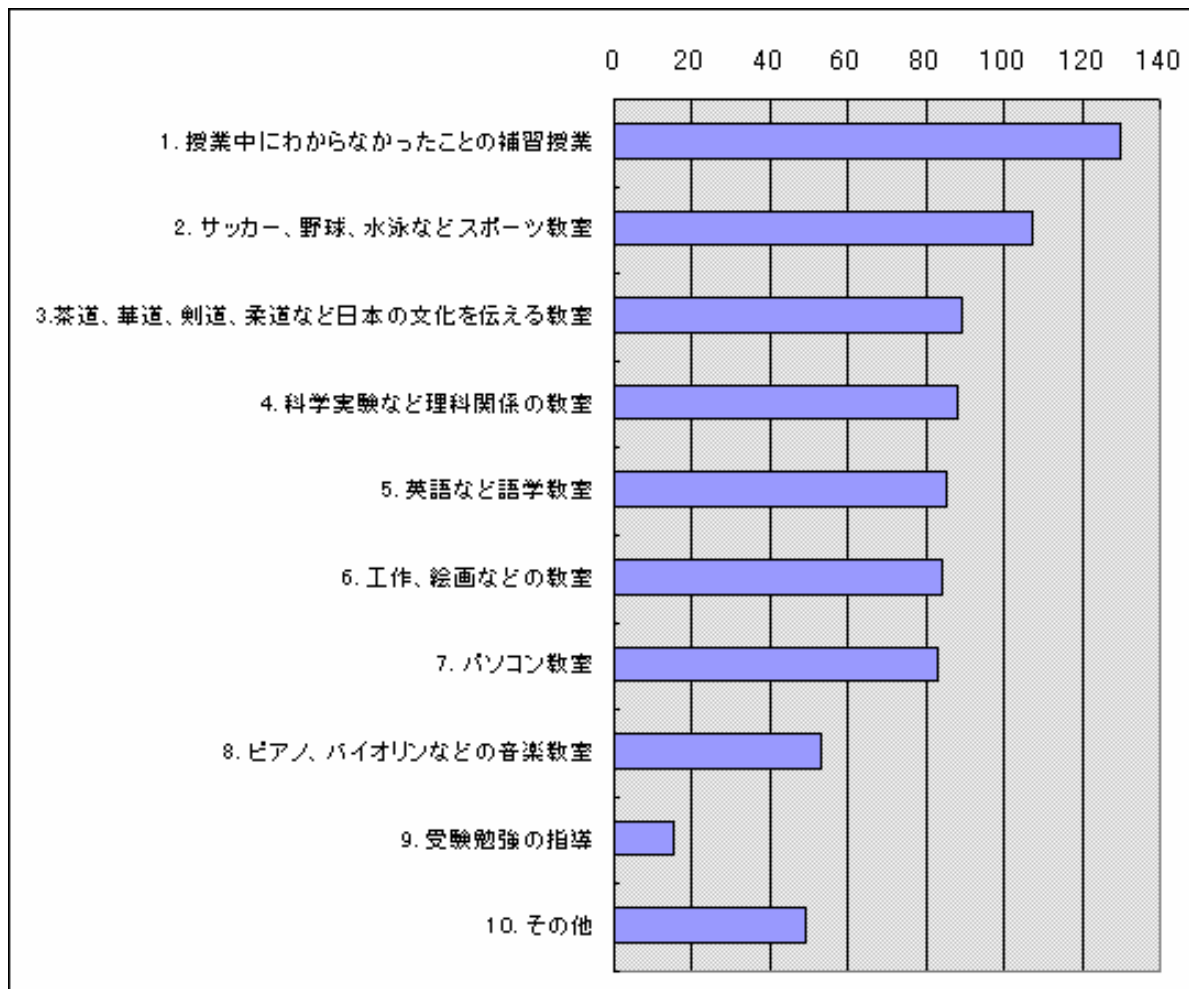
学校が一つの組織である以上、職員がみな横並びの烏合の衆では困ると思う。やはりきちんと管理 = マネジメントができること、しかも閉鎖された特殊な社会に風穴を開け、時代のニーズに的確に対応できる柔軟性をもっていることが必要だと思う。」

校長個人のポリシーや固定観念にとらわれず、現場の状況を把握し、児童、教師、保護者の意見を聞く耳を持ち、迅速で柔軟な対応が取れる人物が望ましいと思う。校長は教育者でありながら、企業のトップと同じ役割を担っていると思う。」

世間体、対教育委員会、対校長会...という“お体裁” “体面”をとりつくる校長が多すぎるのが現実。そういうものには目を向けず、“本当の教育は何か”のみを真剣に考え、世間、教育委員会等外部の風当たりから学校の教師、生徒をシッカリ守りつつも、学校を閉鎖的なものにはせず、学校の中に自由の風が吹くのを保障出来る校長。」



Q4 学校の放課後や土曜日に、授業以外のサービスを求めるとしたらそれはどのようなものですか。  
(複数回答)



	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
全体	200	130	107	89	88	85	84	83	53	15	49
		65%	54%	45%	44%	43%	42%	42%	27%	8%	25%

授業以外に学校に求めるサービスについて聞いたところ、授業中にわからなかったことの補習授業が1位で65% (130名)、次いで「サッカー、野球、水泳、などスポーツ教室」54% (107名)、以下、「茶道、華道、剣道、柔道など日本の文化を伝える教室」「科学実験などの理科関係の教室」「英語など語学教室」「工作、絵画などの教室」「パソコン教室」がほぼ同数となった。その他では、「野外遊び」「自然教室」「ボランティア」「親子で参加できるイベント」などが挙げられた。



自由記入を見ると、週5日制になってから、下校時間が遅くなり、放課後は「習い事どころではない」「塾などで忙しい」「これ以上もう何もできない」と悲鳴とも言える声が挙がっている。その一方、土曜日は「することもなくゲームばかりしている」「土曜も働いている親は子どものことが心配」「土曜の子どもの居場所が必要」という声が挙がっている。土曜日の利用については、習い事に代わる教室、補習授業、授業内にはできないような体験や実験など、さまざまな希望やアイデアが挙がった。一方で、何もいらないから校庭を開放して欲しい」という声が多く、外で安心して子どもたちが遊べる場が少なくなっているという現状が浮かびあがってくる。

### 学校でこのようなサービスを行うことについて

#### 〈賛成!〉

個人で習い事をさせるのは経済的に大変なのでぜひ学校で、低料金で実施して欲しい。」

仕事をしてるため、まだ一年生の子どもを置いて家を空けるのは不安なので、土曜でも学校で子どもが楽しめるような、スポーツ教室などを行ってほしい。」

土曜日が休みになったことで、困っている家庭のほうが多いはず。土曜日も学校で任意の上記のような課外授業を積極的に実施してもらいたい。」

土曜日には、普段の授業では時間的に難しいことを教えてほしいです。私たちが子どもの頃には「ムダかな」と思うような授業がたくさんありました。その「ムダ」が教科に対する興味を増やしてくれた気がします。今は授業時間数が少ないので、土曜日にその分できたらと思います。」

#### 〈反対!〉

現在、土曜日を有効につかおうという試みで、サタスポ(サタデースポーツ)なる行事を実験的に行い始めたうえ、運動会やら、学校公開などの授業参観などを土曜日に行い始めました。ただ、すでに土曜日が完全に休業になった段階で塾や習い事などをいれた親にとって、この試みはとて迷惑です。学校が休みになったからと暇な子ばかりではないということをもっと自覚してほしいと思います。」

土曜日にまで登校させるのはかわいそうなので、放課後に課外授業が望ましい。」

今、不審な事件等が多く、登下校も心配です。なので、放課後は早く帰ってきてもらうほうが安心。」

学校が提供するサービスなら講師や内容のレベルに期待できないので他で学ばせる。」



### 《条件付で賛成》

強制でなく、子どもたちがやりたいと思える課外活動があればやっていただきたいと思います。」

授業枠の中で個人の能力に応じた教育を行うのが困難であれば、放課後の活動に上記のような活動もあってよいと思います。」

### 《ぜひ補習授業を！》

補習授業を是非、行って欲しい。現状は塾に頼る保護者が低年齢化している。この現状を踏まえ、是非、補習授業をして欲しい。」

「斉教育には能力的についていくのが困難な生徒の救い上げのため補習等を実施してほしい。また、放課後の先生は会議等が多過ぎる。もっと減らし、放課後教室で生徒と雑談等できる時間の保障をとるべき、さらなるコミュニケーションがとれるように。」

学校できちんと学力や、体験 技術習得をさせてくれないので、塾やその他の習い事を自費でさせることになっている。もっと学校で体験的なものや補習をきちんとしてくれたらと思う。」

### 《週5日制のせいで...》

ゆとり教育とかで平日の授業がキツキツと聞いています。週末に平日できないような、実験とか外遊びとかをやってもらいたいです。」

ゆとり教育といわれるが、実際のところ子どもが暇になりすることがない子もいると思います。その為に学校は積極的に子どもに何かする場を与えてあげるべきだと思います。」

「ゆとり教育」で中途半端な自由のある休日が増え、家庭での責任が大きくな!不安も大きいです。子どもにとって十分な指導が出来ているのか自信が無い事も多く、集団で学べる良さをもっと体験させてあげたいと思います。」

今のところは、広報などを見て、近くの博物館や美術館のイベントに参加していますが、ゆとりがあるとは感じないです。土曜日が休みになったことで、平日の授業が忙しくて友達と遊ぶ時間もありません。土曜日も学校があったほうがよほど平日にゆとりを持てると思います。」

週休2日のせいなのかわかりませんが、1年生でも帰宅が4時になることもかなりあり(まっすぐ帰ってきて)、それから宿題をさせると放課後に遊ぶ時間がほとんどありません。放課後を自由に何をやりたいのか自分で考えることなどできないのが現実。今の小学生は忙しそうにみえます。塾通いで追われる子は、放課後や土曜にどんな活動ができるのか、したいのか、というレベルにさえもなないように思えます。」

これ以上はもう子ども達をほっておいて欲しいと思う。大人はぼーっとしてる子や何も予定のない時間があることが悪だといわんばかりにその時間を埋めて、こうし過ぎだと思う。そして子どもの大切な時間も管理し、全てを把握しておこうとする。それでは子どもは休まらない。」



### 《学校できちんとしてくれたら..》

学校での生活をきちんとしてくれたら、今のところそれ以上は望みません。」

習い事にわざわざ行かなくてもいいように、芸術的な面で伸ばしていってもらえるような活動をして欲しい。」

### 《思いっきり遊ばせてあげたい》

お稽古ごとで縛らずおともだちと遊ぶことに時間を費やしてほしいのが希望ですが、外でもゲームをしていたりする子たちを見ると、スポーツのクラブチームやガールスカウトに入れてしまったほうがいいのかなと考えてしまいます。」

ゆとり教育になって、かえって宿題が増え、学年が上がるごとにウィークデイには遊べなくなってきた。せめて週末に思いっきり身体を動かせるスポーツ教室に行かせたい。」

今の状態では正直なところお金に余裕のある過程の子どもは塾などに通い学力をアップさせられるが、そうでないと・・・と思うととても不公平だと思う。学校できちんと時間を使って欲しい。また、外で元気に遊ぶ子が減ったことも気になる。」

現在は、習い事をたくさんしている子どもが多いのですが、習い事も大切だとは思いますが、もっと心豊かな子どもを育てる活動や、外で身体を動かしたり、交友関係について学んだり、人として基本的で大切な事を保護者と一緒に学べる活動があれば嬉しいです。」

### 《子どもの居場所が必要！》

仕事を持っている保護者が増えている昨今、放課後や土曜日に行き場がない子ども、安心して子どもを任せられる体制を探しあぐねている親が多く見受けられます。それを学校として受け入れるとなれば、企画～運営、人員配備、施設整備等々、金銭も伴う大変な『事業』になるかもしれませんが、ぜひ、学校を足場とした子どもの居場所作りを積極的に展開していただきたいと思います。それには学校側はもちろん、PTA、教育委員会、市区町村の関連部署が心を合わせなければならぬと思いますので、放課後、休日対策窓口を設置し、広く意見を求め、必要なことはすぐに実行していく体制づくりを、早急に進めていくべきだと考えます。」

放課後に自由に遊べる様な場所が欲しいです。今は交通事情、不審者の問題で子どもが家庭内で遊んでいます。もっと外で遊ばせたいので、安心できる学校を開放していただけたら良いと思います。」